

【件名】	鶴見川整備工事（その50-2）	【事務所名】	南多摩東部建設事務所	
【工事場所】	東京都町田市図師町地内	【受注者名】	親和興業株式会社	
【工期】	平成28年3月28日から平成29年8月25日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 伊藤 晃史	

【工事概要】

工事延長 101.9m
 護岸工 498.7㎡ アスファルト舗装工 350㎡
 既成杭工 16本 場所打擁壁工 50.0m
 取付擁壁工 104.4m 植栽工 387株
 L型擁壁工 22.4m 橋台工 2基

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事は図師川島2号橋の上下部工及び上流の護岸等を新設するものであり、工事中搬入路の制限のある工事であった。
 工事中搬入路については、約30%と急勾配でダンプトラックなどが進入できない状況であった。監理技術者はクローラダンプでの施工方法を提案し、提案どおり着実に施工を行うなど十分な知識と経験を有していた。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

橋台の施工では生活道路を切回しながら、限られたスペースでの場所打ち杭の施工計画及び地下水の対応に尽力しました。

◇ 特に工夫した点

護岸の曲線部で落差工があり、擁壁、橋台部の施工管理方法について1段ごとに変位、高さの管理をし、日々誤差修正をおこないながら施工をおこないました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

どの現場でもそうですが、苦労した分完成したときの達成感があります。また、造った構造物等がこれからも残り使用されていくことにやりがいを感じます。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

土木工事は、私たちの生活になくてはならないものを作る仕事です。自分が携わった工事が完成した時の充実感や達成感をぜひ体験してほしいと思います。



クローラダンプ運搬状況